



ヒツジは3～4千もの品種がいるそう。黒い顔はサフォーク種。

みんなで支え合い、いっしょに生活 障害者理解促進・啓発パネル展及び物産展

イオン御経塚店で12月15日(火)、市民の障害者への理解の促進や障害者の社会参加と地域生活を支援する目的で、パネル展及び物産展を市社会福祉協議会と合同で開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症の影響でイベント会場での販売が減っていますが、各障害者施設では利用者がいつもと変わらず製作に励んでいます。サニーメイト福祉工場の愛らしい盲導犬のメモ帳や、フォルムののシティの山下ミツ商店とのコラボ焼菓子などが販売され人気を博していました。

「学びたい」を応援する場 ののいちコミュニティカレッジ公開講座

ののいちコミュニティカレッジの公開講座が12月19日(土)に、にぎわいの里ののいち カミーノで行われました。テーマは「おいしいヒツジのはなし～羊肉ブーム到来の背景」で、ヒツジにまつわるあれこれが講師の石川県立大学の浅野桂吾氏から紹介されました。ジビエの普及など食肉の選択肢が多様になる中、第3次羊肉ブームが到来しているそうです。羊肉の国内生産を目指し白山麓で行われている放牧の事例を聞き、参加者は県産ラム肉への期待を膨らませていました。



製品を買うことも支援です。障害を学んで理解を深めませんか。



二画面パソコンで「リモート授業」も体験。

ITを正しく上手に使いましょう 知ってネット教室&パソコンで年賀状づくり

12月13日(日)、情報交流館カメリアで小学生対象のネット対策教室が行われました。プログラミング体験や情報検索などの後、ネットで知り合った男性に誘拐された事件やネット上のいたずら写真が「炎上」した事件などを紹介。ネットの危険や注意すべき事を学びました。後半は、干支の「丑」や話題の「アマビエ」など、思い思いのデザインの年賀状を作成。子どもたちからは「パソコンは面白いけど、ネットでの出会いは危ないと思いました」などの感想が寄せられました。



温かい雰囲気でもちがって勉強できる、と大好評でした。

楽しく、おいしく、しっかり勉強したい 1の1 勉強カフェ

自習スペースとカフェが融合した「勉強カフェ」が、1の1 NONOICHIで12月22日(火)～26日(土)に期間限定で実施されました。企画は錦丘高校の2年生5名。総合の授業で「学習塾を融合させた飲食店」を研究する一環として実現しました。学生が勉強するきっかけや、教え合いの場になること、飲食店にとっては幅広い年代の集客を見込めるなど双方にメリットがあると考えたそうです。訪れた学生たちは、ドリンクを飲みながら和気あいあいと学習に取り組んでいました。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

安全安心の居場所づくり 放課後子ども教室 お正月遊び

子どもたちが地域のボランティアと一緒にさまざまな体験活動を行う放課後子ども教室。例年は市内6カ所で開催していますが、今年度は感染症対策のため、広いスペースが確保できる学びの杜ののいち カレードでの実施となりました。毎週木曜日、市内児童30人がカレードに集まっています。

1月14日(木)はお正月遊びをテーマに、金沢に古くから伝わる遊び「旗源平」と「かるた」を行いました。旗源平とは、源氏と平家に分かれてサイコロの出目で旗を奪い合うもの。多くの旗が奪える「うめがいち（出目が5と1）」がいつ出るか、皆食い入るようにサイコロを見守っていました。



- ① われ先に取り札へ手を伸ばし白熱するかるた
- ② 良い目を狙い、真剣な表情でさいを投げる旗源平
- ③ 「うめがいち」中旗一本！
- ④⑤ 入口では検温と消毒で感染症対策



おいしい食事は日々の楽しみの一つですね。

おいしい！を追い求めて 野々市公民館クッキングサークル

野々市公民館を拠点に活動するサークル、「めだか」クッキングは会員の「こんなの作りたい」というメニューに挑戦し、味のレパートリーを増やしています。12月16日(水)、にぎわいの里ののいち カミーノで特別活動として、金沢キッチン里山料理教室から講師を招き、健康を考えた和のおもてなし料理を作りました。「野菜は産地や品種で味が違うので、嫌いなものでも試してみて」といったアドバイスの数々に、料理の奥深さや食の大切さを学ぶ時間となりました。

和気あいあいの国際交流 国際交流カフェ

12月19日(土)、にぎわいの里ののいち カミーノで国際交流員のエドワード・ミルナーが異文化理解と交流を促すカフェを開催しました。クリスマスが近いこの日は、エドの出身国イギリスのクリスマスがテーマです。エドからChristmasの由来(Christ = キリスト、Mas = 礼拝)や文化習慣の紹介があった後、母国から取り寄せた伝統のクリスマスクラッカーを皆で引っ張ることに。「パン！」と華やいだ音が部屋中に響くと、参加者は一様に笑顔を見せてくれました。



2月13日(土)にも開催予定です。エドと一緒に交流しませんか。